

# こんぺいとう通信



スマホのことをあえて「スマフォ」と呼ぶ方々が一部いらっしゃいますが、その方々が言うには「スマートフォン」を省略してるんだから「スマフォ」と呼ばなければおかしいのだそうで。それなら「パーソナルコンピューター」を省略したものは「パ〜ソコン」と呼ぶのかといえはそうでもないようで、だったらスマホでいいじゃんと思う今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか (^\_^)

「メディアリテラシー」という言葉をご存じですか。「リテラシー」は読み書きの能力のことですが、そこに「メディア」が加わり、「テレビや新聞、近年ではインターネットなどのメディア（情報媒体）の伝える情報を理解し、その内容を正しく見極める能力」のことを指します。

一昔前までは、情報を得るための手段といえば新聞かテレビが主流でした。それが最近では、人々のテレビ離れが進み、新聞の購読率も低下の一途をたどっています。日本新聞協会の発表によると、1997年のピーク時(5377万部)に比べて2018年には25.8%減となり4000万部の大台を割り込んだそうです。それと入れ替わり台頭してきたのが、言うまでもなくインターネットです。今はありとあらゆる情報がインターネットで手に入ります。最新ニュースもパソコンやスマホのアプリでリアルタイムに知ることができます。我が家でも新聞を購読してはいますが、朝刊で読む内容はどれもネットで知っていることばかり、まるで古新聞を読んでいるようです。

ところで最近「フェイクニュース」という言葉もよく耳にしますね。フェイク…つまりデタラメ・虚偽の報道ということです。トランプ大統領がよくフェイクニュースという言葉を使いますが、「新聞で報道

される内容はウソだ」という文脈で語られるわけですが、皆さんの印象はいかがですか？新聞やテレビとインターネットでは、どちらが信頼できますか？新聞の方が信頼できそう、テレビで有名人が言っていたからそれが真実だろう、ネットの情報ってなんだか胡散臭い…そう思われる方も結構いらっしゃるのではないかと想像します。でも、果たして本当にそうでしょうか。

複数の新聞を購読しているご家庭はあまりないと思いますが、インターネットでも新聞記事は読めますので、何か大きな事件があったときに各社がどのように伝えているかを読み比べてみてください。お時間がない方は朝日新聞と産経新聞の2紙だけでもよいでしょう。そうすれば、新聞社によって事件の伝え方が全く違うことに気が付かれると思います。事実の一つであるにもかかわらず、です。一例として2008年に国籍不明の潜水艦が我が国の領海を侵犯するという重大事件が発生しましたが、読売や毎日など主要各社が一斉に一面で扱ったにもかかわらず、朝日新聞は社会面にべた記事で小さく載せていただけでした。つまり、何を伝えるか、何を伝えないかは、送り手側に全て委ねられており、新聞やテレビなどのマスメディア以外に情報伝達の手段がなかった時代には、送り手が自分たちに都合のよい情報のみを私たちに送ることが容易にできたということです。「樫事件」などはその代表例ですね。



翻ってインターネットはどうでしょう。ネットの方が正しい情報を提供しているというわけでは決してありませんよ。ネット上に胡散臭い情報がたくさん

あるというのもその通りです。それでもインターネットが素晴らしいのは、そこには（ウソやデタラメも含めて）あらゆる情報が発信されていて、その中から私たちが自由に情報を選び取ることができるという点に尽きます。一部の人間によって操作された情報を一方的に読まされるのではなく、私たちが自由に選ぶことができるのです。ただし、その自由を活かすためには、私たちが玉石混淆の情報の海の中から、真実と嘘とを見分ける能力が不可欠です。そうでなければ、簡単に騙されてしまいますからね。今のこの混とんとした時代を、他者に操られるのではなく、自由に主体的に生きるために、ぜひメディアリテラシーを高めていくように努めましょう。具体的には、次のようなことを日常的に心掛けるとよいでしょう。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

①目や耳にした情報を鵜呑みにしない。

テレビや新聞、ネットで見た情報をそのまま信じるのではなく、自分でいろいろと調べてみる習慣をつけるべきです。情報にはそれを発信した人の思想信条が色濃く反映されていることが往々にあります。ましてや、どこの誰が書いたかもはっきりしないネット上の情報をそのまま信じるのは、危険極まりないことです。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

②わからないことがあれば自分で調べてみる

調べるといえば、昔は図書館などへ行く必要がありました。今はパソコンやスマホなどで簡単に調べ物ができます。知らない事柄が出てきたときには、とりあえず調べてみるという習慣をつけることが大切です。調べる際には、次の点に注意しましょう。

- ・対立した意見があるときには両方の意見に目を通すよう心掛ける。
- ・そこに書かれている情報の出典はどこ（誰）なのか、確かな情報源であるのか。
- ・情報源は複数あるのか。一人の人が言いふらしているだけなのか。
- ・現物、実物は存在するのか、それとも噂話だけなのか（雪男やツチノコなど）

③安易に言いふらさない

何か新しい情報を手に入れたとき、それを周囲の人に知らせたいという気持ちはよくわかります。けれども、それが間違いのない情報だという確信がない場合には、安易に言いふらすべきではありません。そうすることで、今度は私たち自身がフェイクニュースの拡散者になってしまいます。家族や友達とのおしゃべり程度ならさほど害もありませんが、ツイッターやフェイスブックなど、ネットのツールを使って発言した内容はあっという間に広まってしまいますので、特に注意が必要です。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

とまあ、長々と書いてしまいましたが、パソコンやスマホなどの文明の利器がせっかく身近になったのですから、それらに振り回されることなく真に役立つために、「操作の仕方」といった表面的なことのみならず、便利な道具をより適切に使うための心得のようなものも養っていきたいですね。

かくいう私も、いまだに振り回されてばかりなのですが…日々勉強ですね (^^)

キッズ・パソコン教室（いろはキッズ）開講のお知らせ

現在、こども向けのパソコン教室のカリキュラムを準備中です。対象は小学校低学年からで、マウスやキーボードの使い方～ローマ字やタッチタイピングが中心の内容になります。

併せてタイピングの検定試験も準備中です。こちらは大人の方の受講もおすすめです。準備が整いましたら、改めてお知らせいたします。



気が付いたら11月も半ば。そろそろ年賀状に取り掛かる生徒さんもいらっしゃいます。残り少なくなってきた令和元年ですが、大切に過ごしていきたいですね。それではまた来月(?) (^^)~